

進級おめでとうございます

小中高等部のみなさんは本日、無事に修了式を迎え、今年一年間の履修が終わりました。四月からの新しいスタートを目の前に、今年一年間を振り返り、次年度への意欲をさらに高めてほしいと思います。

今年度の進路ジャーナルもこれが最終号となります。年度の途中から「より見やすい進路ジャーナル」を目指して、月2回に分けての発行をしてきました。誰でも、どんなことでも、「よりよくなる」ことができます。みなさんも、さらに「よりよくなる」ことを目指して、楽しいことは精一杯全力で楽しみ、つらいことから逃げずに、一つひとつ乗り越えていってほしいと思います。来年も一緒に成長できる一年にしましょう！

去る3月14日、今年度も、高等部3年生はそれぞれの進路先へ巣立っていきました（進路先については、前号をご覧ください）。卒業生たちは、これから進路先で、新しく、仕事の手順や社会人としてのマナーを学び、さらに成長していくことになります。

みなさんの先輩で、高等部を卒業し、就労継続支援B型事業所で働いている人がいます。在学中は、作業学習やあまり得意ではない運動にも、一生懸命取り組んでいました。しかし、話をするのはあまり得意ではなく、電話での会話はほとんどできませんでした。卒業後、携帯電話をもち、時々電話をするようになりました。初めのうちは、会話は一方的でしたが（自分の言いたいことを言うと、すぐに切ってしまいます）、2年ほど経つと、相手の質問に答えたり、相手に伝わるように話そうとしたりすることができるようになり、楽しそうに電話をするようになりました。

もう一人の先輩は、卒業後、近くのスーパーに就職しました。家からバスに乗って、仕事場に通っていましたが、仕事に慣れ、自動車免許を取得しました。その後、車を購入し、職場へは車で通勤するようになりました。また、お休みの日には、自分で運転してELMへ行ったり、スキー場へスノーボードをしに行ったりと余暇を楽しむようになりました。

卒業後、新しいことに挑戦した二人ですが、大変なこともたくさんありました。けれども、「嫌だ」「やりたくない」などとは言わず、楽しみながらクリアしていました。

みなさんはゲームが好きですか？ゲームの世界では、難しい課題に挑戦することが楽しみの一つではないかと思います。失敗して「ゲームオーバー」になったら嫌だから、ゲームをしない・・・なんてことはないですよ？失敗は「ゲームオーバー」ではなく「もう一度挑戦するチャンス」です。

また、ゲームをクリアして、次のレベルに進んだときには、自分の能力を試したり、伸ばしたりできるチャンスだと感じるはずです。

人生は最高のゲームです！困難を楽しみ、新しいことにどんどん挑戦して、人生ゲームの達人を目指しましょう。

